

市政報告

09
vol.

かみたに

京都市会議員

神谷修平

瓦版



第16回
マニフェスト大賞
「エリア選抜」に
選ばれました！

応募総数2,730件の中から選抜された165件の取り組みの中に選んでいただきました。惜しくも優秀賞は逃がしましたが、対外的にも評価していただけたことは大変励みになりました。これからも、よりよいまちづくりのための政策を提言して参ります！

神谷の取組内容は…

京都市・公園トイレ清掃の実態
〜現地調査と入札制度からの分析・改善〜

市民の皆さまから「公園のトイレが汚い」というお声を受けたことをきっかけに、調査を開始しました。

下京区内に17カ所あるすべての公園内トイレに現地調査を実施すると共に、現地とインターネット上にてアンケート調査も実施。

調査を進める中で、清掃業者の選定段階での入札条件や、清掃のルールなどに改善の必要性を感じました。入札の参加資格のハードルが高いことで競争性が生まれず、清掃現場の維持管理における低下が生じる原因となっていることを感じ、様々な業者が新規参入しやすいような環境を整備したという取り組みです。

キレイになりました!!
中堂寺公園ベンチ改修



市民の方からのお声を受けて、中堂寺公園のベンチを修繕していただきました。このように地域でお困りのことがあれば、些細なことでも構いません！ぜひ一度、神谷へご相談ください!!



Manifesto Awards

マニフェスト大賞とは？

全国の地方自治体の議会・首長等や地域主権を支える市民等の優れた活動や政策を募集し、表彰するものです。

優れた取り組みが表彰され、広く知られることによって、政策本位の政治、生活者起点の政策を推進されるために設けられました。



神谷修平プロフィール



- 1986年11月19日生まれ 関西学院大学卒業
- 文化財保存修復師として10年間
国宝・重要文化財の絵画の修理に携わる。
- バスケットボール部に中学から高校まで、6年間所属
- 妻と子供2人の4人暮らし
- 常任委員会では、まちづくり委員会 副委員長を務める
- 京都ハンナリーズを支援する京都市会議員連盟 幹事
- 京都サンガF.C.を支援する京都市会議員連盟

SNSのご案内

日々の活動や想いを発信しています。
フォローお願いします!!



@kamitanishuhei



LINE公式アカウントを
開設しました!!



・ 財政再建への道！ 収入増加への具体策 ・

京都市の財政状況は現時点でも危機的な状況ですが、改革期間中に災害等が発生すれば、直ちに財政破綻する可能性が高まります。今はとにかく短期間で財政を立て直すことによって市民の生活を守っていく必要があります。しかし、京都市の計画では、今後も借金をし、借金返済のための財源の取り崩しを続けます。さらに改革の優先順位が市長から示されていないため、市民の不安は大きくなり、様々な憶測が飛び交っております。改革の全貌をいつまでも先行き不透明なままにせず、改革の出口を示すことが4期目の市長の「責任」だと考えます。京都市の改革に対し、私たちは具体的な提案を引き続き行って参ります！

オフィス誘致を強化！

若者が働きたい街へ！

全国的に東京一極集中に歯止めがかからない中でも、京都市には大学も多く貴重な人材の宝庫であり、参入を希望する企業が多数存在します。参入の足かせとなっているのは京都市のオフィス不足です（近年の空室率は1%前後を推移）。オフィスを創出し、企業誘致を積極的に行い、若者が働きたい街に変わることによって市全体の活性化に繋がっていかねばなりません。30代の転出超過も大きな問題です。次のステップとして、京都で結婚し子育てしたいと思えるような施策も考えていかねばなりません。

若年層の市外への転出

- 20代(就職期)が東京都・大阪府へ転出超過となっている。
- 子育て期の30代が近郊都市へ転出超過となっている。

14万人の学生が学ぶ大学のまち



ふるさと納税を黒字に！

ふるさと納税・企業版ふるさと納税の成果を上げ収入アップを目指す！

ふるさと納税制度は、行政サービスを受ける住民が税を負担する「受益者負担の原則」から逸脱しており、本来廃止すべき制度です。とはいえ制度が適用されている以上黒字化に向けて取り組まねばなりません。京都市のふるさと納税は長らく大幅な赤字(令和2年度は40億円以上が流出!!)に悩まされていたため、税込確保に向けて積極的に提言を行い黒字に転じました。

また、企業版ふるさと納税については、毎年100万円だった寄付額が1億円以上に増加しました。

「企業版ふるさと納税」とは？

その名の通り、個人が利用できるふるさと納税の企業版で、企業が本社がある自治体以外の自治体（地方公共団体）が行う地方創生の取組みに寄付をすることで、最大9割の法人税の軽減が受けられるという制度です。



『かみに瓦版』の由来

神谷家は大宮五条で『神治屋』という瓦屋を営んでおりました。それにちなんで、タイトルを「かみに『瓦』版」と命名致しました。